

外来治療センターを使用される患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

外来化学療法におけるがん専門薬剤師による薬学的患者管理の評価に関する研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属]

井関 健（北海道大学大学院薬学研究院 教授／北海道大学病院薬剤部 部長）

[研究の目的]

抗がん薬はその有用な効果の一方で、他の薬剤と比較して抵抗力が落ちたり、出血しやすくなったり、吐き気やしびれ、痛みが出るなど様々な副作用が出現することが知られています。また、抗がん薬は肝臓、腎臓、心臓などに負担をかけるものも多いため、治療を開始する前に種々の検査結果を医師・薬剤師・看護師で確認し安全に治療できるように協力しています。各職種の専門的な確認が重要とは言われていますが、どの程度重要なのかは十分に分かっていないため、本研究で明らかにしたいと考えています。

また、外来で抗がん薬等による治療を継続する場合、患者さんご自身で副作用に対処していただかなければならず、適切な副作用に対処できる薬剤の提案、使用法の説明が重要になってきます。現在薬剤師が治療中の患者さんと面談し、副作用の出現した時期、程度などをお聞きし、適切な薬剤の処方を医師に提案しています。今後さらに多くの患者さんとの面談を予定しており、今までの成果を解析することでより良い業務につながると考えています。また、その結果を発表することで他の施設の参考となり、多くの患者さんのためになると考えられます。

本研究は薬剤師による外来化学療法施行患者さんに対する取り組みの重要性を明らかにすることを目的として実施します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2015 年 5 月から 2017 年 5 月の間に外来治療センターで注射・点滴の治療を受けた方。

●利用するカルテ情報

使用した抗がん薬の種類、副作用に対処するために使用した薬剤、副作用の程度など

[研究実施期間] 実施許可日～2019年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院薬剤部 担当 齋藤 佳敬

電話 011-706-7722 FAX 011-706-7616